事例No.	1932
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	熊本県熊本市

事例区分	公営企業

タグ	・と畜場事業 ・公共施設活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	事業廃止

事例内容・タイトル

熊本市食肉センターの廃止

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【熊本県熊本市】
熊本市食肉センターの廃止

事業廃止 と畜場事業

熊本県熊本市農水局農政部農業政策課

● 取組の概要

施設老朽化や赤字経営等の課題を抱える市食肉センターの廃止を行った。

◆総事業費　225,482千円（施設解体経費総額）

◆背景

- 市食肉センターは施設老朽化の問題に加え、民間処理業者のと畜場開設等により処理頭数が減少し、毎年数億円の赤字を計上している状況であった。
- この課題を解決するため、施設の老朽化や厳しい経営状況等を踏まえた施設のあり方について検討することとした。

◆具体的内容

- と畜場関係者、食肉業界等多くの関係者との協議に時間を要したが、県北のと畜場に豚、県南のと畜場に牛及び馬について機能移転することで合意し、これら民間とと畜場に機能移転するための施設整備を進めた。
- 機能移転完了後、平成28年2月に市食肉センターを廃止した。

◆効果

- と畜機能の移転によって、牛、馬及び豚は、それぞれ最新鋭のと畜場で処理され、それまで以上に安全で衛生的な食肉を消費者に供給することが可能となった。
- 市食肉センターの廃止によって、行政の財政的な負担が解消された（▲約4.5億円/年）。

● 取組のポイント

- 組織的で強固な取組を行うため、市長が市食肉センターを廃止することを決断し、トップダウンで事業を推進した（平成20年度にこの案件を担当する部署を設置し、法制部門との協議を重ねて事業を進めた）。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　737,969人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　390.32km^2（令和4年1月1日時点）
- 年間処理頭数　2,820頭（平成27年度決算）

● 取組のスケジュール

- 平成15年度　市食肉センターのあり方検討を開始し、平成17年度に市食肉センターのと畜機能を県下のと畜場に移転する方向性について表明。
- 平成18年度　県下の複数の民間と畜場を対象に、市食肉センターのと畜機能移転に関する協議を開始。
- 平成20年度　機能移転に関するプロジェクトを担当局に設置し、熊本県、と畜場関係者、食肉業者、熊本市食肉地方卸売市場の卸売業者等との協議を開始。
- 平成24年度　牛及び馬のと畜機能の移転について、県南の民間と畜場と合意。
- 平成25年度　豚と畜機能の移転について、県北の民間と畜場と合意。
- 平成27年度　熊本市食肉センターを廃止。

● 今後の展望

- 事業廃止後も民間と畜場において安定的な食肉供給が継続されており、引き続き民間と畜場による食肉供給状況を注視する。